

説教題：**真の盲人とは**(14～)

聖書:マタイ 15章10～20節

<口語訳>

新約聖書24～ 頁

マタイ 15章10～20節

<新共同訳>

新約聖書29～30頁

マタイ 15章10～20節

<新改訳第3版>

新約聖書29～30頁

マタイ 15章10～20節

<塚本訳>

新約聖書113～114頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓・説教と表現される箇所です。
- ◇本日は**マタイ15:10～20節**の「**真の盲人とは(14～)**」の箇所から「**神(天)の国**」(「**神の真理・真実**」)を知りたいと存じます。
- ⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、失望して去る群衆を見つゝ、別の群衆を招き寄せて下さいました。
- ⇒主は、**ユダヤ人指導者・パリサイ派の人々・律法学者**を非難することば「口に入るものは人をけがさない。口から出るもの、これが人をけがす。」を語られました。
- ⇒主の弟子たちは、密かに密偵を派遣しているエルサレムから来た**ユダヤ人指導者・パリサイ派の人々・律法学者**を気にして主に報告します(11)。
- ⇒主は、極めて冷静に、「**天の父がお植えにならなかった者は、抜き取られる**」と、仰せでした。

本論；

◇本日、**マタイ書15:10～20節**から主の**使信**に**思い・心**νοῦς(nouj)をとめます。

◆**マタイ15章10～20節**；**使徒マタイ**は、「**真の盲人**とは(14～)」との主のみことばを通して、「**神(天)の国**」の隠されている「**神の真理・真実**」を示しています。

◇**15:1～20節**；**塚本訳**◆**洗わぬ手**

「10 それから群衆を呼びよせて言われた、「聞いて悟れ。

11 口に入るものは人をけがさない。口から出るもの、これが人をけがす。」

12 あとで弟子たちが来てイエスに言う、「パリサイ人がお話を聞いて腹を立てたことを御存じですか。」

13 イエスは答えられた、「わたしの天の父上がお植えにならないものは皆、引き抜かれる。

14 あの人たちを放っておけ。盲人の手引をする盲人だ。盲人が盲人の手引をすれば、二人とも穴に落ちよう。」

15 ペテロが口を出して言った、「さっきの譬を説明してください。」

- 16 イエスは言われた、「あなた達までがまだ悟らないのか。
- 17 すべて口に入るものは、腹を通して便所に落ちる(から、人をけがさない)ことが解らないのか。
- 18 しかし口から出るものは心から出るので、そちらは人をけがす。
- 19 心から悪い考えが出るからである。人殺し、姦淫、不品行、盗み、偽証、悪口(など)。
- 20 人をけがすのこれで、洗わぬ手で食事をすることは人をけがさない。」と、**使徒マタイ**は主のことばを語っています。

◇**15:10~11節**；「**御子イエス・キリスト様**」は、「それから群衆を呼びよせて言われた、「聞いて悟れ(10)」と、呼び寄せ、「口に入るものは人をけがさない。口から出るもの、これが人をけがす(11)」と、「**ユダヤ人指導者・パリサイ派の人々・律法学者**」が、「言い伝え」のことばによって、「**神のおことば・律法**」を無視し、汚し、無効にしていると、群衆のみならず、弟子たちにも教えて下さったのです。

⇒「言い伝え・伝承」は、モーセの時代にレビ記から取られ、「**御子イエス・キリスト様**」のお生まれになる直前ころ長老と言われた指導者に従わせるために作られたものと、言われます。

⇒「言い伝え」は、人間が勝手に作ったものですが、**神の律法**より優先されるがあったと言われます。

⇒彼らは、「**御子イエス・キリスト様**」のことばじりを捉えて、エルサレムの指導者に報告して、殺害を目論んでいただけなのです。

◇**マタイ15:12~14節**；「**御子イエス・キリスト様**」は、「あとで弟子たちが来てイエスに言う、「パリサイ人がお話を聞いて腹を立てたことを御存じですか(12)」と問うと、「イエスは答えられた、「わたしの天の父上がお植えにならないものは皆、引き抜かれる(13)」、「あの人たちを放っておけ。盲人の手引をする盲人だ。盲人が盲人の手引をすれば、二人とも穴に落ちよう(14)」と、見せかけは、**ユダヤ人指導者**ですが、中身は、「**偽善者・盲人**」であると、仰せになったのです。

⇒「**偽善者・盲人**」は、霊の目が失われた人です。

⇒これは、「ユダヤ人指導者」だけでなく、私たちにも問われる深刻な課題です。口では、主を主として告白して、祈りますが、自分の罪深さに蓋をしようとすることがあるのです。

⇒OA師、KT師、SY師、OR師他の指導者が、「自分の罪深さ」の深刻さを問い、牧師の心を巣喰うているとご指摘です。

◇**マタイ15:15～20節**；「ペテロが口を出して言った、「さっきの譬を説明してください(15)」、「イエスは言われた、「あなた達までがまだ悟らないのか(16)、すべて口に入るものは、腹を通して便所に落ちる(から、人をけがさない)ことが解らないのか(17)、しかし口から出るものは心から出るので、そちらは人をけがす(18)、心から悪い考えが出るからである。人殺し、姦淫、不品行、盗み、偽証、悪口(など)(19)、人をけがすのこれで、洗わぬ手で食事をすることは人をけがさない(20)」と、「御子イエス・キリスト様」は、「弟子・ペテロの質問」に答えて(15)、汚れは、「口＝心」から出て来るものであると、答えておられます。

⇒「ユダヤ人指導者」は、「宗教上手を洗わな

い」ことが、「汚れ」としていましたが、手を洗わないことは、「汚れ」ではなく、人の心にある「悪い考え」＝「人殺し、姦淫、不品行、盗み、偽証、悪口(など)」が、「汚れの源泉」であることを提示されました。

⇒これは、モーセの十戒の5～10戒の戒めで、隣人関係の律法でした。

⇒主は、「ユダヤ人指導者」たちが、主を畏にはめるために派遣されたことを示し、彼らの動機の「悪い思い」を指定されたのです。彼らは、主を殺害するための口実を得るため、主に近づいていたのです。弟子たちも、うすうす感じていたのです。

⇒教会では、悪意の行動は、少ないでしょうが、自分の心を偽ることはあるのです。しかし、必ず隠れて考えは、主が白日のもとにさらけ出されるのです。

⇒エペソ5:13～14;【口語訳】

13 しかし、光にさらされる時、すべてのものは、明らかになる。

14 明らかにされたものは皆、光となるのである。だから、こう書いてある、「眠っている者よ、起

きなさい。死人のなかから、立ち上がりなさい。
そうすれば、キリストがあなたを照すであろう」。

結論；

◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。

◇マタイ書は、使徒マタイが、ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリストを証言した記録です。

◇マタイ5～7章は、神の御子イエス・キリスト様の山上の垂訓(説教)の箇所です。

◇本日は**マタイ15:10～20節**の「**真の盲人とは(14～)**」の箇所から「**神(天)の国**」(「**神の真理・真実**」)を知りたいと存じます。

⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、失望して去る群衆を見つゝ、別の群衆を招き寄せて下さいました。

⇒主は、**ユダヤ人指導者・パリサイ派の人々・律法学者**を非難することは「口に入るものは人をけがさない。口から出るもの、これが人をけがす。」を語られました。

⇒弟子たちは、密偵でエルサレムから派遣されている**ユダヤ人指導者・パリサイ派の人々**のことを主に報告します(11)。

⇒主は、極めて冷静に、「**天の父がお植えにならなかった者は、抜き取られる**」と、仰せでした。

⇒「**真の盲人とは(14～)**」・「**動機が悪いユダヤ人指導者**」は、動機が暴かれるのです。しかし、十字架の死を回避されたのではなく、**神の時**を待っておられたのです。

⇒エペソ6:23～24;【口語訳】

23 父なる神とわたしたちの主イエス・キリストから平安ならびに信仰に伴う愛が、兄弟たちにあるように。

24 変らない真実をもって、わたしたちの主イエス・キリストを愛するすべての人々に、恵みがあるように。